

第三章 その他

第1節 参考資料

1 おおつ健康フェスティバル

高齢社会を迎えた今日、健康で生きがいをもって、人生を豊かに自分らしく、明るく暮らすことができる地域社会を実現するため、市民一人ひとりが健康を振り返り、あるいは体験を通して健康づくりを見直すきっかけとなることを目的として、平成3年から毎年実施している。

(1) 日 時 令和元年10月20日(日)10時～15時

(2) テーマ のぼそう健康寿命～今あなたにできること～

(3) 主催 おおつ健康フェスティバル実行委員会

(4) 場 所 明日都浜大津

(5) 内 容

・健康ウォーク

・式典、健康シールラリー

・ステージイベント

・健康トークショー

「作り手よし！食べ手よし！からだによし！」三方よしの 奥菌流 健康レシピ

出演：家庭料理研究家 奥菌 壽子

・大津市健康推進連絡協議会による活動発表「メタボのバス」

・事業内容

受動喫煙防止、生活習慣病予防、がん予防、歯の健康、糖尿病予防、簡易血液測定、CKD啓発、簡易貧血検査、骨密度測定、体力測定、体組成測定、栄養相談、健康フードの展示、食育啓発、マッサージ体験、介護予防、もの忘れ相談、自助具啓発、AED体験、手洗いチェック、メンタルヘルス、健康入浴啓発・毛髪診断、暮らしと食べ物の衛生



健康おおつ21シンボルマーク
おおつ げんき丸

2 研究及び外部での講演等の報告

【研究報告】

タイトル	滋賀県と連携して進める大津市のがん検診事業
報告学会名	第 48 回 日本消化器がん検診学会 近畿地方会
発表者名	大津市保健所 滋賀県がん検診検討会胃がん部会 中村由紀子 健康推進課 平田史子、西本美和 滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課 大井恭子
<p><要旨></p> <p>大津市のがん検診事業における精度管理の取り組みについて、また滋賀県がん検診検討会がおこなう県内市町のがん検診事業への支援について報告した。</p>	

タイトル	母子保健事業の啓発に関する研究（第 1 報）
報告学会名	第 50 回 滋賀県公衆衛生学会
発表者名	中すこやか相談所 棚田のぞみ、片山克子、奥野圭子 滋賀県立大学 古川洋子 ふちもと助産院 淵元純子 健康推進課 北村敦、白石智子
<p><要旨></p> <p>平成 27 年から 3 ヶ年かけて「妊娠期にある母親への参加型健康支援教育」について研究し、妊娠期・新生児期における健康支援サービスの内容を可視化しイメージ化を図るため、紹介 DVD を作成した。今後 2 ヶ年かけて DVD の検証を行うにあたり、DVD 視聴の状況と実態を第 1 報として報告した。</p>	

タイトル	大津市子ども発達相談センター来所児調査 ～H22 年度出生児を中心に～
報告学会名	第 50 回 滋賀県公衆衛生学会
発表者名	子ども発達相談センター 平野美香、菅原有里
<p><要旨></p> <p>子ども発達相談センター開設に伴う制度の変更に際し、健康推進課の乳幼児健診および発達相談からセンターに適切につながっているかを検証した。今回は、3 歳 6 か月児健診を受診後、センター利用の最初の学年となった平成 22 年度出生児を対象に後方視的に分析。令和元年 8 月までに、279 人（学年人口の 8.7%）が来談していたが、初回の来談時期は、小 1 と 5 歳児に集中していること、また、半数が健診継続群であり、乳幼児健診で発達の見立てはされていても、必ずしも早期に来談しているとはいえないことも明らかとなった。</p>	

タイトル	大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業について（第6報） ～地域における継続支援の振り返り～
報告学会名	第50回 滋賀県公衆衛生学会
発表者名	大津市保健所 奥田由子、西尾加代、武田恵、中村瑞枝、中島美和、 白子京弥、岡嶋一郎、中村由紀子
<p><要旨></p> <p>救急病院と連携した自殺未遂者支援において、全国的にも稀な長期継続支援を行っている本事業の149事例と経過を分析したところ、以下の4点が特徴的であった。①36%が事業への同意すら困難なハイリスク事例であった②早期の支援や「手をさしのべる支援」で関係作りを工夫した③関係機関や家族関係などの環境調整を重視した④事例の援助希求力を高めながら、丁寧に支援を終えた。このような支援により、ひきこもり・虐待・依存症といった自ら支援を求めない人々への支援モデルの可能性を示した。</p>	

タイトル	難病支援における災害対策の取り組み ～支援者向け研修会における自助・共助の必要性の啓発～
報告学会名	第50回 滋賀県公衆衛生学会
発表者名	大津市保健所 武田恵、野村健太、吉田未佳、中島美和、白子京弥、 岡嶋一郎、中村由紀子
<p><要旨></p> <p>在宅難病患者の支援者を対象とした難病患者災害対策従事者研修会を開催している。難病対策地域協議会での議論や、災害時個別支援計画作成支援の中で、自助・共助の認識が高まるような地域づくりの必要性を重視した研修内容として実施してきたので、経過と考察を報告した。</p>	

タイトル	大津市子ども発達相談センターにおける発達相談の現状と不登校傾向にある小学生（中・高学年）の心理アセスメントについて
報告学会名	第17回日本小児心身医学会関西地方会
発表者名	子ども発達相談センター 菅原有里、松原巨子、龍田直子
<p><要旨></p> <p>当センターでは、平成27年2月の開設以来、不登校を主訴とした相談が年々増え、その中でも、特に、不登校になるまで問題に気づかれることなく、小学校中・高学年以降、「突然、学校に行きたがらなくなった子ども」の相談が増加している。今回、当センターで不登校児に新たに取り組み始めた検査結果から、数事例を振り返り、不登校児の相談・支援における心理アセスメント（P-Fスタディ）の活用の意義について考察した。</p>	

タイトル	大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業について ～地域における継続支援の6年を振り返る～
報告学会名	第43回 日本自殺予防学会
発表者名	大津市保健所 奥田由子、西尾加代、武田恵、吉田未佳、中村瑞枝、 中島美和、白子京弥、岡嶋一郎、中村由紀子
<p><要旨></p> <p>全国規模の共同研究では、救急病院に入院した自殺未遂者に対し、初期のケースマネジメント介入により6ヶ月間の再企図抑止効果があるが、それ以降は効果が減弱すると示されている。大津市保健所では、中核市の利点を生かした長期継続的な自殺未遂者支援事業を6年間で137事例に実施し、ハイリスク事例が多いにもかかわらず、早期支援や環境調整の重視などにより、支援開始6ヶ月以降の長期予後が改善できたと思われる。</p>	

【講演等報告】

タイトル	親も子どもも楽しく元気に、やまびこ生活を楽しむために一大津方式の歩みからー
講演会・研修会名	やまびこ園・教室 保護者学習会
発表者名	子ども発達相談センター 松原巨子
対象者及び参加人数	やまびこ園・教室の保護者・職員 約 60 名
年月日	令和元年 5 月 21 日
主催者	やまびこ園・教室
<p><要旨></p> <p>やまびこ園・教室が、子どもと保護者への支援において目指していること、保護者の子育てが楽になるよう、子育てや子どもの発達保障の捉え方と仕組みを説明した。それらの理念は、大津市における大津方式の中で大切にされてきた考え方と仕組みであって、歴史的な経過の中で作り上げられてきた経過があることをお話した。</p>	

タイトル	1歳6か月児、3歳児健診前後の子どもの発達と、発達障害の早期発見と早期対応について
講演会・研修会名	第2回 発達障害の発見とその後の支援に関するキャリア研修会
発表者名	子ども発達相談センター 松原巨子
対象者及び参加人数	広島県内の保健師、保育士、児童発達支援事業者、保護者 約 100 名
年月日	令和元年 5 月 25 日
主催者	社団法人クローバーの会
<p><要旨></p> <p>大津市で取り組んでいる乳幼児健診の仕組みと内容について、10か月児健診から3歳6か月児健診とその後の支援の仕組みを紹介し、その上で早期発見早期対応に際して、保護者への支援や子どもの発達を見る視点について説明した。ピカジップ法を用いグループワークを実施した。</p>	

タイトル	4・5歳児期における発達の捉え方と、発達障害の発見と対応をめぐる問題について
講演会・研修会名	第2回 発達障害の発見とその後の支援に関するキャリア研修会
発表者名	子ども発達相談センター 松原巨子
対象者及び参加人数	広島県内の保健師、保育士、児童発達支援事業者、保護者 約 100 名
年月日	令和元年 5 月 26 日
主催者	社団法人クローバーの会
<p><要旨></p> <p>4歳児から5歳児期における子どもの発達と発達障害の捉え方について説明し、保育園や幼稚園での集団における発達支援の必要な子どもへの対応と保護者支援の視点について説明した。ピカジップ法を用いグループワークを実施した。</p>	

タイトル	“つなぎ”をだいに『チーム支援』
講演会・研修会名	大津市 教科・領域部会 「特別支援教育部会」
発表者名	子ども発達相談センター 橋本奈美香
対象者及び参加人数	幼・小・中特別支援教育部会員 約 30 名
年月日	令和元年 6 月 21 日
主催者	大津市教育委員会・学校教育課・教育センター
<p><要旨></p> <p>子ども発達相談センターの概要と役割、「就学に関する申し送り」について説明し、その意義と活用について理解を図った。校園における特別支援教育コーディネーターの役割と組織作り、チーム支援のあり方と重要性について深め合った。</p>	

タイトル	大人になることを見据え、小児期をどう支えるか（大人の発達障害）
講演会・研修会名	第 4 回発達障害児支援研修会
発表者名	子ども発達相談センター 龍田直子
対象者及び参加人数	医師、看護師など医療関係者 約 20 人
年月日	令和元年 7 月 4 日
主催者	公益社団法人 大津市医師会
<p><要旨></p> <p>成人期にはじめて診断される人が増えている昨今、小児期の支援の重要性が指摘されている。成人後の心身の健康や社会適応の基盤となる、「自他への信頼」「自己理解」「基本的な対処スキル」を育むための、ライフサイクルを見通した支援について講演した。</p>	

タイトル	1・子どもの成長と心の発達 2・子ども理解を深めるために～ 子どもの気になる姿・かかわり・障害理解について
講演会・研修会名	令和元年度 ファミリーサポートセンター 講習会
発表者名	子ども発達相談センター 平野美香
対象者及び参加人数	ファミリーサポートセンター会員、市民 各回 約 30～40 人
年月日	1 回目 令和元年 7 月 11 日、2 回目 令和元年 9 月 10 日
主催者	大津市ファミリーサポートセンター
<p><要旨></p> <p>大津市ファミリーサポートセンターでは、市民や会員向けに、子育ての知識を得られる公開での講習会や会員交流会を年間 13 回実施している。そのうちの 2 回において、幼児期の子どもの発達、障害や支援について、幅広い対象者に理解を深めてもらうことを目的に、講習会の講師を担当した。</p>	

タイトル	心のトラブル・心の健康
講演会・研修会名	民生委員児童委員相談活動セミナー 中級
発表者名	保健予防課 奥田由子
対象者及び参加人数	民生委員等 約 70 人
年月日	令和元年 7 月 23 日
主催者	大津市社会福祉協議会
<p><要旨></p> <p>地域の相談員として精神障害者問題への関心を高めてもらい、メンタルヘルスの基礎知識と相談スキルを身につけてもらうための研修を行った。また、相談員として必要なセルフケアについても伝えた。</p>	

タイトル	『確かに、楽しく、たくましくー育ちを支えるまなざし』
講演会・研修会名	大津市特別支援学級担任者会 研修部研修
発表者名	子ども発達相談センター 橋本奈美香
対象者及び参加人数	小中学校 特別支援学級担任 約 50 名
年月日	令和元年 8 月 22 日
主催者	大津市特別支援教育連盟
<p><要旨></p> <p>①子ども発達相談センターの概要の説明と就学申し送りの活用について ②特別支援学級経営について（教育課程作成上のポイント・実践例） ③特別支援教育コーディネーターの役割と校内組織作りについて ④子どもをとらえる目 について実践をもとに伝え、深め合った。</p>	

タイトル	0歳から3歳までの発達～子どもの気持ちの読み取りと関わり～
講演会・研修会名	地域型保育事業 従事者研修
発表者名	子ども発達相談センター 松原巨子
対象者及び参加人数	地域型保育事業に従事する保育者や担当者 約 90 名
年月日	令和元年 10 月 19 日
主催者	大津市幼児政策課
<p><要旨></p> <p>0歳から3歳半ばまでの子どもの発達について、および地域型保育事業の現状を踏まえて、保育の中で大切にしたいことを講演した。</p>	

タイトル	保護者への支援について
講演会・研修会名	第5回発達障害児支援研修会
発表者名	子ども発達相談センター 龍田直子
対象者及び参加人数	医師、看護師など医療関係者 約20人
年月日	令和元年10月24日
主催者	公益社団法人 大津市医師会
<p><要旨></p> <p>発達障害をもつ子どもの保護者が抱える心理社会的背景、それらを踏まえた親子のアセスメント、支援の原則について講演した。</p>	

タイトル	産業医が知っておきたい発達障害とその対応
講演会・研修会名	第82回労働衛生研究会
発表者名	子ども発達相談センター 龍田直子
対象者及び参加人数	滋賀県の産業医 約25人
年月日	令和元年11月16日
主催者	滋賀県産業医会
<p><要旨></p> <p>発達障害の概論と各論、成人期特有の課題、対応や支援の要点について講演した。</p>	

タイトル	子ども発達相談センターと地域医療との連携について
講演会・研修会名	第6回発達障害児支援研修会
発表者名	子ども発達相談センター 龍田直子
対象者及び参加人数	医師、看護師など医療関係者 約20人
年月日	令和2年2月1日
主催者	公益社団法人 大津市医師会
<p><要旨></p> <p>大津市医師会学校保健部事業（発達障害児支援研修会）を開始して2年間の、センターと地域医療機関の連携について、実績と取組みの現状、今後の方向性について講演した。</p>	